

令和5年度 第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア 群馬県大会

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール実施要項

1 目的

- ①「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することにより、ものをつくることや活用することの喜びを味わう機会とする。
- ②技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と協議をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、知識や生かした被服製作等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びを味わう機会とする。
- ③自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- ④製作を通して、ものを大切に作る心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

2 参加対象 群馬県内の中学生で、校長が参加を認めた者

3 開催期日 令和5年11月4日（土）

4 開催場所 新町防災アリーナ

開催場所住所 〒370-1301 群馬県高崎市新町2330-40

5 課題及び課題製作上の注意点について

(1) 競技の課題について

『バッグ(ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど)』とする。

(2) 使用する布について

・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布などを加えてもよい。

(3) デザイン及び機能について

・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。(例:ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など)
・『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

(4) 縫製について

・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
・スナップは、必ず1つ以上付ける。
・3時間程度で製作できる作品とする。

(5) レポートについて

・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫(どの部分をどのように活用するか)」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること(朱書きする)。
・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。

6 競技方法 提出されたバッグと必要に応じて提出された工夫点を審査して賞を決定する。

最優秀賞1名、優秀賞2名

7 費用 参加費なし。材料費は各自負担して製作する。

8 参加申し込み

令和5年10月20日(金)までに、別紙申込用紙に必要事項を記入の上、下記へメールまたはFAXで申し込んでください。賞状の準備のため、参加生徒一覧の申込書も送付してください。

担当者氏名 館林市立第三中 教諭 蓼沼佐弥香 高崎市立新町中 教諭 丸山康弘

送付先 館林市立第三中学校 〒374-0035 館林市青柳町1751-78 電話 0276-72-4061 FAX0276-72-4167

メールアドレス E-mail chu.daisan@ed-tatebayashi.jp

9 その他

○作品搬入 10月31日(火)までに地区担当中学校へ搬入、または11月4日(土)に、新町防災アリーナ(審査会場)へ直接搬入(参加申し込みの際、直接搬入を希望される旨をお伝えください)。

※小林理工さん、森野教材さんが学校を回っているときに預けていただくと地区担当校へ届けてくれます。

○当日は審査のみとなります。

各地区担当者

北毛 利根沼田	沼田市立西中	井上治男	西毛 高崎	高崎市立新町中	丸山康弘
中毛 前橋	前橋市立箱田中	鷲頭生治	東毛 太田	太田市立休泊中	藤本浩一
			東毛 館林	館林市立第三中	蓼沼佐弥香

※館林市立第三中学校に郵送等していただいても結構です。